



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW コロナで再注目 電子書籍と図書館の未来

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は6月15日に大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW(オウテモンビュー)」を開設しました。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。サイトは追手門学院オリジナル記事と他メディアに掲載された関連記事の2つで構成。

本学のような文系学部中心の大学としては珍しい取組で改善を重ね充実していきます。



OTEMON VIEW トップページ

コロナ禍を教育・研究の視点から

今、話題のニュースの一つは、コロナ禍および新型コロナへの対応に関することです。

今回は電子出版の普及や図書館改革に取り組んでいる、湯浅俊彦国際教養学部教授の分析レポートです。

以下、主なポイント

電子書籍の現在

○電子出版物の年間販売額は2019年に3000億円を突破

○全国約3200の図書館に対して電子書籍を扱う図書館は300館程度

○電子書籍は拡張性が高く、障がいのある人や外国人にも対応がしやすい

「デジタル絵本」の読み聞かせも始まる 貸出型？滞在型？変わる図書館

○2013年に開館した佐賀県の武雄市図書館は、滞在型図書館への転換を象徴

○滞在型図書館は本を体感できる空間づくりと利用者が使いやすいテーマや企画に沿って本を配置

○電子書籍の普及で個人がより情報を発信しやすい社会へと変容

詳しくは記事本体をぜひご覧ください。

前編: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/643/>

後編: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/650/>



滞在型図書館の象徴、武雄市図書館

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL: 072-641-9590 谷ノ内・仲西